

「ひだ国府紅しだれ」は 会津地域においてモモを安定生産できる台木である

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－モモ－栽培

2 担当者名

安達義輝、三田村諭、遠藤敦史、南春菜、渡邊善仁、増子俊明

3 要旨

凍害等による主幹障害は、モモの安定生産の阻害要因となっている。本県の多様な栽培条件に適応可能な台木を選定するため、寒冷地における台木別の生育特性を明らかにする。「ひだ国府紅しだれ」は「おはつもも」に比べ、寒冷地において生育が健全な台木である。

- (1) 会津地域において、「ひだ国府紅しだれ」または「おはつもも」を台木とした「あかつき」の生育を比較した。
- (2) 「ひだ国府紅しだれ」は「おはつもも」に比べ主幹障害の発生が少ない（図1）。
- (3) 生存する「おはつもも」もまた主幹障害による樹勢低下が認められ、樹冠拡大は「ひだ国府紅しだれ」並である（図2）。「おはつもも」は樹勢が強く、幼木期に強せん定となりやすいことから、主幹部付近の大きなせん定痕が樹勢低下の引き金とみられる。

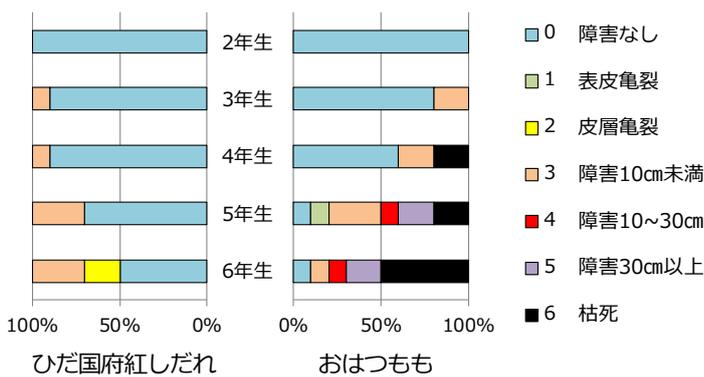


図1 会津地域における主幹障害の発生推移

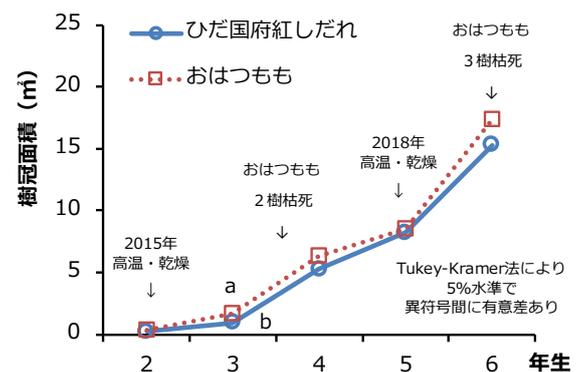


図2 会津地域における樹冠拡大

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 生育障害対策技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 神尾ら, モモ品種「ひだ国府紅しだれ」の台木特性に関する研究, 岐阜県中山間農業研究所 研究報告第12号, p9-18, 2016.

表1 調査期間の低温遭遇日数

観測地	アメダス	-5℃以下	うち-10℃以下
若松		58	1
福島		12	0
調査期間	2015/4/1 ~ 2019/11/1		